

” 12月25日(金)クリスマスに、東進衛星予備校・東進中学NET藤枝駅南口校が、藤枝駅から雨にも濡れずに通学できる校舎に移転します！ “2020.12.13(sun)

2018年7月、静岡市から掛川市までに在住する当校在籍生徒の皆様の利便性を優先して現所に「藤枝駅南口校」として移転したものの、現所はファイテンASR藤枝店のコーナーの為、生徒の皆様に受講やトイレ等の環境面において不便を強いておりました。それ故現所への移転当初から、独立した静かな受講環境の確保のために校舎適応物件を探しておりました。また、現校舎が8坪の為、NPO静岡県教育フォーラムの相談業務やふじのくに中央日本語学校、ヒューマンアカデミー・ロボット教室は、瀬古の自宅の2階に移し、私の仕事の拠点が藤枝で2ヶ所に別れ、不便をきたしておりました。そうしたところ今年の9月、新型コロナ禍対応融資で大変お世話になった静岡銀行藤枝駅支店からオーレ藤枝3Aの物件をご紹介して頂き、改装資金の確保のために時間を要しましたが、それも果たしこの度同所に移転することになりました。静岡銀行藤枝駅支店様には心より感謝申し上げます。

現校舎8坪から新校舎20坪に移転のため、その中に約6坪程の教室が確保でき、そこにNPO静岡県教育フォーラムの藤枝駅南口相談室やふじのくに中央日本語学校藤枝駅南口校、ヒューマンアカデミー・ロボット藤枝駅南口教室を新設・移転することができ、私の藤枝における業務を同所に集約することができます。また、20歳の大学生時に起業し、中3年間静岡ミサワホーム(株)で営業の勉強をさせて頂いたものの、45年間事業運営させて頂きましたが、その殆どが公私別なく仕事オンリーの生活でした。そのため、瀬古の2階での業務が自宅を離れることから、登記上会社やNPOの本社や事務局は瀬古に残りますが、基本的に公私の分離も果たせませす。

職員の皆様には伝えてあります、あと5年で第一線を退く準備のため、この5年(正確には4年7ヶ月)で全ての借入を返済し、且つ、事業運営のための資産も残すべく、この機に改めて事業拡大に力を注いでいこうと思います。皆様、宜しくお願い致します。

” 「ある奴隷少女に起こった出来事」を読んで “2020.11.20(fri)

久々にはまった本です。1800年代のアメリカの奴隷制の実態を告発した自伝書(ハリエット・アン・ジェイコブズ著)です。

しかし、本書は本国アメリカでも、出版社の倒産により自費出版になり、かつ、当時の(奴隷制容認の)時代背景から、「白人著者(リンダ・ブレンド)によるフィクション」と見なされ、1世紀以上、完全に忘れ去られていました。則ち、当時は読み書きができないはずの奴隷が描いたとは思えない知的な文章、奴隷所有者による暴力、強姦の横行と言うショッキングな描写、7年間の屋根裏生活、そして現代日本の読者すらぎょつとする、不埒な医師から逃れるために、15歳の奴隷少女が下した決断一別の白人紳士の子どもを妊娠する一は、当時の読者にはかなりセンセーショナルであり、奴隷制の実情すら知らない、北部の読者の理解を超えていたため、本書は実話ではなく、フィクションだと受けとめられて

いました。

しかしその 120 年後、歴史学者である米国イエリン教授が、奴隷解放運動家が遺した古い書簡を読んでいた時、その中にたまたまジェイコブズからの手紙が紛れ込んでいたことから、「著者不詳のフィクション」として本書を読んだことがあった同教授は、「リンダ・ブレンド」はハリエット・アン・ジェイコブズのペンネームであること、また記載事項の細かな裏付けを取り、6 年後本書が事実に非常に忠実な自伝書であることを証明したことから、本書はベストセラーになりました。

人間が、人間を（しかも、その子どもや孫まで）商品の如く扱う奴隷制の実態が現実存在していたこと。考えれば、人間が人間を殺し合う戦争に、人間が人間を悲惨な死に至らしめる核兵器と、今もなお同じことが続いていることへの警告と読み取れました。

” 虐待の防止に思う “2020.11.15(sun)

なんと 1 カ月ぶりの書き込みです。来週には正式に発表しますが、当東進衛星予備校藤枝駅南口校、NPO 静岡県教育フォーラム相談室、うなぼるて、ふじのくに中央日本語学校等の移転準備等で多忙を極め、大変失礼しました。

実は移転準備だけでなく、今月 11 月 30 日から 12 月 1 日まで 1 泊 2 日で、内閣府主催の「令和 2 年度子供・若者育成支援のための地域連携推進事業における中央研修大会」参加のため（交通費等を内閣府が出して下さることもあり）、このところ主に石川瞭子・聖隷クリストファー大学教授の書物を読み直しながら、表題の件を考えていました。

石川教授が仰る通り、私も虐待については、その事件の残忍性を取り上げ、虐待者を非難することより、そうした虐待を防止するために我々はどうすべきかを考え、実践すべきであると思います。なぜなら、虐待の残忍性と虐待者を非難しても、その子の命は蘇らないんです。ならば、その子の貴い命に報いるために、我々はその事件がどうして防げなかったのかを検証し、新たな虐待・虐待死が起こらないようにするために、我々は何をすべきかを考え、実践することだと考えます。この 1 週間は、それをまとめていました。そして、その研修で意見しようと思っています。サイレントマザー・ファーザーが存在する中で、水面下の虐待発生要因を察知するためにはどうすべきか、まさしく「地域連携」がその答えです。でも、その中身です。具体的に我々はそれぞれの立場でどう実践すべきかだと考えます。

” 学力不振や軽度発達障害の子どもの学習指導について “2020.10.15(thu)

この 10 月 12 日に、NPO 日本インターネットスクール協会の尾糠副理事長からご相談頂いたこのテーマ。同じく私が理事長を務める NPO 静岡県教育フォーラムが 20 年余、学習障害（LD）や ADHD、ASD、自閉症スペクトラムなどの軽度の発達障害の子ども達の学習指導をしてきた経験と、いくつかの大学や大学院で発表された論文を元にまとめました。

こうした子ども達を持つ親は、その成育歴の過程で、我が子の言葉の遅さや言語面での弱さ、行動の不器用さや緩慢で怠慢さに、つついつきつきりて勉強をさせたり、「宿題はおわった?」「早く服を着なさい」などと過干渉気味に接してしまいます。すると、子どもはチックが頻繁に表れたり、情緒不安定になり、小学校後半や中学期に無気力・無感動化になったり、非行行動化することもあります。

なぜそうなるか、それを知ることが、そうした子ども達への学習指導の方法を考える元になる、と当フォーラムは考えます。

それは、そうした子ども達のプライドだ、と当フォーラムは捉えています。従って、くそのプライドを傷つけない、そのプライドを支える学習指導の方法、逆にそのプライドを利用する学習指導の方法が、その子の学習能力を最大限に延ばすことになる、と考えています。

NPO 静岡県教育フォーラムが実践してきた具体的な学習指導方法については、NPO 日本インターネットスクール協会の会員の11月度のzoom ミーティングで説明致します。

” 不登校でも、普通高校に行きたい中学 1,2 年生の皆さんへ “2020.10.14(wed)

9 月 18 日(金)の藤枝市教委主催「藤の子教室・進路学習会」で、NPO 静岡県教育フォーラム理事長としてお話させて頂きました。

現在不登校になっている中学 1,2 年生の皆さんへ。

中 2 から不登校でも学習塾で勉強し、中学 3 年生の 8 月下旬から当フォーラムで出席認定を取りながら勉強をして 10 月 4 日から再登校し、静岡県立静岡中央高校の、通信制でなく、全日制単位制コースに入学し、現在高校 2 年生として大学進学を目指している、藤枝市内の A 中学出身の生徒を、私達は支援しました。

また、同じく不登校でも当フォーラムで出席認定を取りながら中学校の勉強を続け、今年の 1 月に「ローラが高校に行く」という番組で紹介された、寮のある愛媛県立三崎高校に翌 2 月の推薦入試を受験、合格して進学した、焼津の B 中学出身の生徒も支援しました。

不登校であっても年齢相応の生活習慣を身に付ければ、同世代の仲間達と同じ道を歩めます。ご相談下さい。

” 三上・三多・三中 “2020.10.10(sat)

歐陽修と言う、景德 4 年 6 月 21 日(おっ!誰かと誕生日が同じだ!でも、西暦では 1007 年 8 月 6 日)生まれの、中国・北宋仁宗~神宗期の政治家、詩人・文学者、歴史学者の言葉です。

まずは、「三上」。優れた考えは、馬上(乗り物に乗っている時)、枕上(布団で寝ている時)、厠上(便所の中)の三つの場所だと生まれやすい、と言う。

そして、「三多」。文章上達の秘訣は、看多(多くの本を読むこと)、做多(多くの文を作ること)、商量多(多く工夫し、推敲すること)である、と。

更に、「三中」。その文章の推敲には、無我夢中（唐の詩人・か（西かんむりに貝という漢字）島は鞍上でまさに夢中に句を考えた）、散歩中（ヨーロッパの思想家には散歩学派が少なくない）、入浴中（かのアルキメデスが入浴中に浮力の原理を発見）がいい状態である、と述べています。

「思考の整理学」（外山慈比古著）から引用しました、この言葉。それから 1000 年余り経った今も通ずるように思います。

車を運転しながら考えるには危険ですが、私も「ふじのくに環境学校」（静岡県のHPにリンクされています）のアイデアを思いついたのは小淵沢のペンションに向かう車の中でした。レム睡眠中は、一種の思考作用が行われているとのこと。トイレの中は、確かに周りから妨害されることもなく、集中できます。

また、本を読んで、情報を集め、たくさん書いてみる。そして、それを吟味、批判を加える。そうすることで、知識や思考が純化されます。

更に、冷めた頭で考える必要もあるが、時には無我夢中で考えることもなくてはならない。京都に「哲学の道」があるが如く、散歩中にいい考えにぶつかることは、古来その例は多い。一般に入浴中は精神も昂揚し、血行も盛んになり思考にとっていい、と言います。

外山慈比古氏曰く、「人間、日々、常住坐臥、最中ならざるはなく、そのつもりになれば、いたるところで妙想が得られることになる」と。

” 自燈明 “2020.10.5(mon)

仏教の開祖・仏陀が亡くなる時、弟子たちが「これから私達は何を頼って生きていけばいいのでしょうか」と聞かれて、仏陀は「わしが死んだら、自分で考えて自分で決めろ。わたしは大事なことは全てお前たちに教えた」と答えました。

自ら明かりを燈せ。つまり、他の誰かがつけてくれた明りに従って進むのではなく、自ら明りになれば、と突き放した、という意味のこの言葉「自燈明」。

ここに学びの目的があると、私は思います。そうでなければ、弟子はいつになっても弟子のまま。生徒は、学生はいつになっても生徒のまま、学生のみで、自立しないんです。

そもそも学びは、義務教育も高等教育も大学教育も、社会的自立を果たすために行うもの。だから、個性の強い自分を認識していた私は 20 歳の時起業し、そうした子ども達や若者達の義務教育や高等教育、大学教育を補完すべく、場を設け（学習塾・予備校のみならず、野外活動や交流合宿も含めて）、幅広く学びを支援してきました。それ故、私は不登校になっても、ひきこもりになっても学びだけは課し、交流合宿などでも大学生・社会人リーダー達と生き方を議論し、45 年が経ちました。

勿論仏陀には遠く及びませんが、5 年前から私なりにまとめてきたものの一つが、来年から始める特定非営利活動法人静岡県教育フォーラム認定の資格講座「不登校・ひきこもり解消支援士講座初級・中級・上級各編」です。2 年後その講座を終えたら仏陀の如く、「皆さんはこれから、不登校・ひきこもりの若者達の対応を自分で考えて自分で決め、その解

消に導きなさい。私は大事なことは全て皆さんに教えました」と言ってみたくも思っています。どうでしょうか？でも、そんな気持ちで私はその講座に挑みます

” 昨日午後不登校の中 3 の生徒が、生活習慣改善のため提携するワンステップスクール湘南校に体験入寮しました！ “2020.9.29(tue)

(以下は、「小さな人間たちの詩」の掲載させて頂きました)

” DEATH イェール大学で 23 年連続の人気講義『「死」とは何か』、私の臨死体験について”
2020.9.28(mon)

9 月 23 日の朝立ち寄った菊川のローソンで見つけたこの本。

(以下は、「小さな人間たちの詩」の掲載させて頂きました)

” 東進衛星予備校藤枝駅南口校、移転の方向に” 2020.9.27(sun)

9 月 4 日付けのこの日誌に書き込みましたが、当東進衛星予備校藤枝駅南口校は、藤枝駅から徒歩数十秒という立地を優先して開校してきました。しかしながら、受講環境は不十分などところがあるため、少しでもいい受講環境をと、藤枝駅南口周辺で物件を探していましたところ、藤枝駅南口周辺に数か所候補地が見つかり、現在そのいずれかに移転する方向で諸手続きに入りました。東進本部の認定等を経て正式に決まりましたら、皆様にまたご連絡に致します。ご理解の程、宜しく願い申し上げます。

繰り返しますが、当藤枝駅南口校は引き続き、学力増強に授業力（東進の講座）のみならず、メンタルトレーニング・心理支援を重視し、その専門スタッフ（土曜日担当の私も含めて）を配置し、運営していきます

” 「てのひらに未来」を読んで” 2020.9.20(sun)

町工場の精密機械部品製造職人たちを率い、やむなく戦争武器部品を製造せざるを得なかった 2 代目社長・父の無念さに、高収入のミサイル部品の注文を断った 3 代目社長の中学生の娘・琴葉と、祖母が父（彼の曾祖父）を中国との戦争で亡くして戦争孤児になり、それがために中国人の嫁（彼の母親）を受け入れられず、父親もその妻（彼の母親）を守り切れず、母親は自分を置いて中国に帰国したために反発、家出し、琴葉の家に住み込みで働きに来た、中卒の天馬との物語。どうもこうした物語には弱い私は、今日一気に読んでしまいました。

戦争で亡くなった画学生の絵が展示されている「無言館」（そのネーミングにも感動）を訪れ、戦時中にも関わらず、明るい色使いで、人物の表情も生き生きしており、風景ものんびりとして美しい、日常の一瞬を切り取ったような絵ばかりを見て、来場者ノートに、「世界から憎しみを消したい。消さなくちゃいけない。オレ自身からも」と書いた天馬に、「あたしにできることを見つけたい。平和な未来につなげるために。」と書いた琴葉。

結局、祖母が中国人の嫁（彼の母親）を見ると、遺骨もなくそばにあった石しか送られてこなかった無念さが蘇り辛く当たってしまった自分を恥じていることを知った天馬は、余命 1 ヶ月と宣告された祖母の元に帰った。一方、いつも機械油が匂い、指に油がしみ込んだ父親を嫌っていた琴葉は、天馬から聞く父親の姿に次第に尊敬の念を抱くようになる。

そして、1 年後の春、再び琴葉の父親の町工場で働くべく、高卒認定試験を経て、世話になった社長（琴葉の父親）の出身大学・条北大学工学部に合格した天馬と、父親の出身大学・条北大学の附属高校に合格した琴葉が、隣り合わせの入学式で琴葉の両親と共に会い、ここがちょっとばかり憎い話、お互いの愛を確かめ合った。

工藤順子氏の作品は初めて読ませて頂きましたが、実に読後感が清々しいですね。今回の日誌はよくうちの職員に言われますが、1 文が長~~~~い文になっちゃいましたが、ご了承下さい。

” どうして不登校、ひきこもりの対応をするのか？” 2020.9.15(wed)

よく聞かれる、この質問。Gamer として稼ぐから、You Tuber になるから、学校に行く必要性を感じない子ども達。そんな夢を抱いている子ども達を私は否定しませんし、自分の本来やるべき学業や仕事をせずに、そんな空想や妄想に浸っている子ども達や若者は、私にはどうでもいいんです。でも、こんな時代、自分の本来やるべき学業や仕事をしながら、そんな夢を抱き、そんな自己実現のためにがむしゃらに日々努力してるんだったら、私は応援します。あるいは、この世で一番大事な息子や娘を、何とか学校に行かせたい、学校に行かなくても自分のなりたいものを見つけ、それに向って歩ませたい、あるいは、自分に合う仕事を見つけ自立してほしいと願って、私の元に訪れたその保護者達の切実な想いは、私は無視できません。私は、そんながむしゃらに頑張っている若者達の想い、そんな保護者の切実な想いを実現すべく、仕事として私はその保護者の不登校やひきこもりの子ども達や若者に対応します。

” ひきこもりの心情—どうしてひきこもるか” 2020.9.14(mon)

9 月 1 日付けの日誌にも書きましたが、3 歳頃までに形成される基本的信頼感の育成不足に加えて、人間関係を希薄化するゲームや SNS、学校環境などもひきこもりを産み出しているように思いますが、そもそも親子関係もその素因のように思います。

則ち、ひきこもりの子どもを抱えたご両親も、自身の親との関係が“疎”だったんではないでしょうか？だから、自身の子どもの友達と“密な”親子関係が築けないように思うんです。従って、親と“密な”人間関係を築けない、そもそも親との基本的信頼感が十分育ってない子どもは、親以外の人に対しても信頼できず気を許せないから、関わりづらさを感じる。そうして、自身の親と兄弟姉妹というごく狭い人間関係の中で生活しているがために、親や兄弟姉妹の日常生活の行動に神経が集中し、過敏になる。ましてやそれ以外の他人には、それ以上に過敏になり、その場に一緒に居られなくなる。だから、マズロー

の言う「安心・安全な」自身の部屋にひきこもる。そんなことを考える今日この頃です。

”西伊豆交流合宿” 2020.9.9(wed)

来月 10 月 18,19 日（日・月）に、西伊豆交流合宿を企画しました。中学生（登校日に絡みますが）から若者、50代・60代の大人たちが参加を予定しています。

18日は午前中、修善寺サイクルスポーツセンターで、1時間半から2時間かけてたっぷりパターゴルフを楽しみます。その後は、西伊豆仁科の民宿ちからに向い、学校や勉強、子育てから生き方などをみんなで語り合おうと思っています。

翌 19日は午前中2時間半、フリーウェイズさんの指導で「堂ヶ島天窓洞シーカヤック」をたっぷり楽しみます。その後、昼食をとり、駿河湾カーフェリーに乗って藤枝に帰ります。NPO日本インターネットスクール協会静岡事務局所有の10人乗りのグランドキャビンでの交流合宿になります。人数が増えれば、レンタカーも考えます。

新型コロナ禍での企画。体験もさることながら、メインは中学生から大人たちで、「学校・子育て・生き方」を率直に語り合うことです。“超”情報化社会の中、私達は様々な情報に振り回されています。FPS・TPSやフォートナイトに興じる中高生や、ツイッターやインスタグラムで自己発信を楽しむ若者たち。その一方で、彼らは生身の交流を避け、家族とも語らないものもいる。この機会に、そんなことに眉をひそめる50代・60代の大人たちが、私が経験した事例も含めて、そうした若者達の生き方を考え、語ろうと思い、企画しました。えっ！パターゴルフとシーカヤックを楽しむだけじゃあないの？と思った〇〇ちゃん、たまにはそういう場にも参加してみようよ。皆さんの参加をお待ちしています。

”東進衛星予備校藤枝駅南口校” 2020.9.4(fri)

今日はもう一つ、この話題についてもお話させていただきます。当グループは、「社会に貢献する」という自己実現したいと願う生徒達の願いも実現するために、東進衛星予備校藤枝駅南口校を運営しています。医者になって苦しんでいる患者を救いたい、旧帝大に入学して上場企業に就職したいと大学進学を目指す生徒も、人の心の痛みが分かる人になりたい、自分のアイデンティティを確立したいと来る不登校・ひきこもりの若者たちも、「自己実現したい」と願うことにおいては同じです。

当東進衛星予備校藤枝駅南口校は、藤枝駅から徒歩数十秒という立地を優先し、受講環境はまだまだ不十分かもしれませんが、学力増強に授業力（東進の講座）のみならず、メンタルトレーニング・心理支援を重視し、その専門スタッフ（土曜日担当の私も含めて）を配置し、運営しています。勿論、少しでもいい受講環境については対応・準備しています。ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

”不登校・ひきこもりの解消とは” 2020.9.4(fri)

明日富士市教育プラザで行われる、県教委主催の「合同相談会」に参加します。不登校・

ひきこもりのご相談は、そこでお受けします。昨年度は、県東部地区では 2 名の不登校・ひきこもりの解消のお手伝いをさせて頂きました。

そこで、時々聞かれるこのテーマ、「不登校・ひきこもりの解消とは」。私達は、不登校・引きこもりの状態を解消することは、社会的な自立を果たすことと捉えています。即ち、子ども達にとって社会的自立とは、自らの進路を主体的に捉えてそれに向け、進学するために学習を始める、就職するために、あるいは、技術を身に付けるために研修、修行を始めるなど、何らかの行動を始めること、と捉えています。その場は、学校であったり、予備校・塾であったり、所謂フリースクールであったり、自宅でもあり、その他の研修（修行）の場と、様々です。ですから、不登校解消＝登校、ひきこもりの解消＝就職だけである、とは捉えていませんし、不登校・引きこもりの状態を社会的自立不全として捉え、不登校・ひきこもりの子ども・若者を否定しているのではありません。

私達は、この世で一番大事な我が子の社会的な自立を願う親の願いを、自己実現したいと願う子ども達・若者たちの願いを実現するために、その依頼を受け行動します。それにはまず私達は、そうした社会的自立を果たしたいと願う子ども達・若者たちと、それを阻害しているものは何か、それを話し合うことから始めます。

” 友達関係が希薄に ” 2020.9.1(tue)

(「小さな人間たちの詩」に掲載させて頂きました。)

“不登校でも、普通高校に行きたい中学 3 年生の皆さんへ 続編” 2020.8.30(sun)

勿論、8.24 付けの日記の通り、日本の“学歴”は世界レベルから見れば何とも寂しい限りですが、人の評価はその人の努力度に寄るんだと思います。

公立志向が強い保守的な静岡県にあって、今年度から私立高校授業料無償化（正確にはいったん支払い、申請して払い戻される）が始まり、高校の評価がその教育力、指導力に左右される時代に入りました。それでも、「自学自習型」の通信制高校より「他学自習型」の普通高校に行きたいと願う君たち。確かに何らかの理由で学校に行かなくても、日々家で勉強している生徒は違いますが、家でも勉強していない生徒にとっては「自学自習型」の通信制高校での学習は厳しいのが現実で、「他学自習型」の普通高校に行きたいと思うのかもしれない。

しかしご存知の通り、高校は義務教育ではありません。だから、中学校も行かず、家でも勉強してない君たちは、どうして高校に行きたいの？と問われます。当然だよな？中学校も行かず、ひたすらゲームにのめりこんでいる。あるいは、何もせず日々を過ごしていたら、人は高校進学可能と評価しますか？e スポーツに自分を賭けるのもいいでしょう。でも、それは高校進学とは別次元の話です。

なぜ普通高校に行きたいのか考えてみて下さい。それでも普通高校に行きたいのなら、今すぐにも勉強をしなさい、と私は言いたいのです。冒頭に述べた通り、人は努力は評価

します。下記の 8.26 付けの日誌で述べ通り、その努力が評価され、普通高校（中には県立高校）に行った先輩たちは、今年も昨年も毎年います。

” 不登校でも、普通高校に行きたい中学 3 年生の皆さんへ” 2020.8.26(wed)

勿論、普通高校でなくても、少なくなってきましたが定時制高校だってありますし、逆にここ静岡では増えています通信制高校もあります。あるいは、専門学校や大学が最終学歴にするんだったら、高卒認定試験合格を狙う道もあります。

でも、今不登校になっても普通高校に行きたい、でも半場諦めている中学 3 年生の相談が、このところ相次いでいます。

だったら、今すぐ勉強しよう！9 月 2 日の学調は別室でもいいから受けよう（点数は気にするな）！次の定期試験の勉強しながら、カウンセリングを受け行きづらさを解消して、9 月には登校し、その定期試験で自分の力を出そう！

その定期試験の後に、今まで授業を受けてなかった単元をしっかり勉強しよう！「小さな人間たちの詩」で語っていますが、当グループの東進中学 N E T では 1 日 90 分週 5 日受ければ、国理社は 1 ヶ月と 4 日、英数ではその倍の 2 ヶ月と 8 日で 1 年間の授業を習得できます。そうでなくても、英数国理社、中学 3 年間の勉強がまとまっている学校配布の「自習室」（学校によって色々なテキスト名になっています）や、塾の高校入試対策（あるいは学調対策）の夏期講習のテキストで勉強すれば、効率がいいです。特に社会は、地理・歴史・公民の教科書を最低 5 回通り読むだけでも結構分かるようになります。どうしてもわからない単元は、東進中学 N E T や塾を利用すればいいんです。

そうして普通高校（中には県立高校）に行った先輩たちを、今年も昨年も毎年、私達は送っています。電話 054-644-1304 にお電話ください。私達は、そんな皆さんを応援します。

” 学歴” 2020.8.24(mon)

45 年間学習塾・予備校界に身を置いた者がこのテーマに触れることに、違和感を感じ方もおられるでしょう。即ち、「学歴社会」は当然として学習塾・予備校が成り立っているところがありますから、その意味では「学歴」は、学習塾・予備校界にとって「聖域」かもしれませぬ。

英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（THE）が 2019 年 9 月 12 日に発表した、世界の大学を研究の影響力や国際性などで順位付けした「世界大学ランキング」の最新版（2020 年版）では、世界 1 位は 4 年連続で英国のオックスフォード大。日本からは前年より 7 校多い 110 校（国立 57 校、公立 11 校、私立 42 校）がランクインしましたが、国内大学の最高順位は東京大の 36 位でした。日本は 200 位以内に入ったのは京都大（65 位）を含む 2 校にとどまりました。アジアトップは清華大で 23 位、200 位以内に中国は 7 校、韓国は 64 位のソウル大を始め 6 校、香港は 5 校で、いずれも日本を上回っています。

勿論、このランキングは、順位つけの基準（①教育力②研究力③研究の影響力④国際性

⑤産業界からの収入)を設け、各大学の学生と教員の比率や留学生比率を調べたり、世界の研究者に研究や教育の評判を調査したりして順位を決められ、留学する大学を選ぶ指針として使われており、絶対的な評価ではありません。また、順位付けの基準は研究や大学院教育を重視しているため、このため学部教育が中心の大学より大学院の規模が大きい研究重視の大学が上位に入りやすいのです。従って、学部教育の「ランキング」そのものではないにしても、研究の濃さ＝大学の質からは日本の本来の「学歴」認識に近いんじゃないかと思いますが、日本の大学の研究の濃さ＝大学の質は世界レベルから見れば、こんなものなんです。

その意味で日本の「学歴社会」を論ずるには、なんとも寂しい限りです。しかし現実には、旧帝大に国公立大、早慶に明青立法中、日東駒専、関関同立・・・とのランキングから、生徒は少しでも上の大学を目指して学習塾や予備校に通い、学習塾・予備校もそれを支援する。そして、その大学の卒業生という肩書がその人の人格の如く扱う、日本の「学歴社会」の実態。(かく言う私も、このホームページで自己紹介に学歴を記入し、そんな「学歴御社会」にどっぷり浸かっているんですね。)

”インプットからアウトプットの入試へ” 2020.8.21(fri)

グローバル化の進展や人工知能技術をはじめとする技術革新などに伴い、社会構造も急速にかつ大きく変革、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てるため、『学力の3要素』(1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を育成・評価することが重要になりました。

そのため、高等教育と大学教育が連携してこの『学力の3要素』を育成・評価することになり、今回の大学入試改革に至りました。

その一つが、記述式問題の導入。これにより、解答を選択肢の中から選ぶだけでなく、自らの力で考えをまとめたり、相手が理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価することができます。

また、共通テストに記述式問題を導入することにより、高等学校に対し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を促していく大きなメッセージとなります。大学においても、思考力・判断力・表現力を前提とした質の高い教育が期待されます。

併せて、各大学の個別選抜において、それぞれの大学の特色に応じた記述式問題を課すことにより、一層高い効果が期待されます。(独立行政法人大学入試センターのホームページから引用、一部修正)

要は、ご存知の通り、インプット(学力の3要素の知識・技能)重視から、アウトプット(学力の3要素の思考力・判断力・表現力)重視に、入試が変わります。

勿論、この改革に向けて小中高校の学習指導要領も改訂され、制度的には令和3年度の新大学入試制度に対応できるようにしてきました。

人間の暗記力に勝る人工知能(AI)の登場で教育も、人工知能(AI)に蓄積させた

知識と技能を如何に活用し、新たな課題をどう解決していくかという能力を育成していく時代になりました。また、グローバル化の進展で言語能力も、今までの受験英語能力ではなく、学力の要素でもある、主体性を持って多様な人々と協働できるコミュニケーション言語能力を育成しなくてはならなくなりました。

東進衛星予備校を運営する私達も加盟した 20 年前から、こうした流れに応じて毎年最低 2 回は研修を受け、議論も重ね、生徒たちに対応してきました。

その間、私は正直、長く身に付いた過去の教育から、新しい教育への摸索の日々だったように思います。しかし、その根底は変わらず、基礎・基本の習得だと思ふに至りました。それを元に 2014 年、静岡県重点分雇用創出プラン民間アイデア募集による委託事業に採択され、開設した民間放課後児童クラブモデル「放課後スクール 学びの広場」で、私達なりにまとめた学力観を、本ホームページに「静岡オープンスクール学力観」として掲載させて頂きました。それが私達の日々の導理念です。

” 20 年後も変わらぬ真理” 2020.8.19(wed)

おはようございます。今回の改装でこれまでの自身の日誌を読み直してまして、2000.6.29 付けの日誌、注釈を入れさせて頂いた通り、当時私はアドラー心理学を学んでなかったんですが、アドラーが言っていることを自身も述べてたことに、少し驚きを感じました。やはり真理の一つなんですね。

則ち、小 6 の息子が昼食に麦茶が出ていないことに腹を立て、食卓をひっくり返し、こぼれたご飯を足で踏みつけて自分の部屋に入ってしまったが、母親としてどう対応しているのか？という相談に対して、「お母さん、私は昼食を作ることでお母さんの責任はちゃんと果たしていると思いますよ。麦茶を出すことまでお母さんの責任ではない筈です。それを食べる、食べないは、彼の判断です。食べずに踏みつけて行ったんですから、また用意する必要はないと思いますよ。ただそのことは、落ち着いて彼に話して下さい。」と、私はお話させて頂いたんですね。

そう、アドラー心理学が言う「課題の分離」のことなんですね。しかし、この「課題の分離」はアドラー心理学のオリジナルの考え方もありませんので、上記のことが起きますし、それゆえに真理なんでしょう。

学校に行けるように靴や服を買ったり、給食費を払うなど準備をするのは親の課題。それで、学校に行く、行かないは子どもの課題だから、子どもを信じて子ども自身に判断させるべきです。親が助言はしてもいいですが、学校に行くようにあれこれ手を回すと過干渉になると同時に、子ども自身が自分の課題に真剣に取り組まなくなり、かえって不登校を助長します。子どものことで悩む前に、まずは「課題の分離」をして下さい。

” 有名になりたい” 2020.8.17(mon)

この盆休みを利用して（と言っても正確には、8/10～8/16 の仕事の合間を利用して）、本

ホームページの「ひげぐま先生のひとりごと」を改装し、「小さな人間たちの詩」のように読みやすいようにPDF化しました。この改装で割愛させて頂いたものもありますが、駄文ばかりですが、極力残しました。自身の思考の足跡のために。

2008年、日本インターネットスクール協会発足の頃から、リーマンショックによる大不況の中、民間のアイデアによる静岡県雇用促進事業に次々と応募し、7事業を受託し、職員も増え、事業規模も一時年間8,000万にも達する事業を行いながら、両親の相次ぐ死去と南新屋の売却、瀬古の改装・移転で、遂にこの日誌も途絶えしてしまいました。

しかし、私には経営者の資質はないんでしょうね。経営者はそういう時こそ、日々日誌をつけ、毎日自身の経営や対応を振り返るべきなんですね。実は創業時、出資者の皆様にそう教えられたことを思い出し（日誌にあるようにM氏の助言も加わり）、2000年6月11日に日誌を公開して意識付けしました。また、マイペースに書き込みながら、思考していると思います。

（以下は、「小さな人間たちの詩」に掲載させて頂きました。）

”東進衛星予備校藤枝駅南口校、移転の方向に” 2020.9.27(sun)

9月4日付けのこの日誌に書き込みましたが、当東進衛星予備校藤枝駅南口校は、藤枝駅から徒歩数十秒という立地を優先して開校してきました。しかしながら、受講環境は十分などころがあるため、少しでもいい受講環境をと、藤枝駅南口周辺で物件を探していましたところ、藤枝駅南口周辺に数か所候補地が見つかり、現在そのいずれかに移転する方向で諸手続きに入りました。東進本部の認定等を経て正式に決まりましたら、皆様にまたご連絡に致します。ご理解の程、宜しく願い申し上げます。

繰り返しますが、当藤枝駅南口校は引き続き、学力増強に授業力（東進の講座）のみならず、メンタルトレーニング・心理支援を重視し、その専門スタッフ（土曜日担当の私も含めて）を配置し、運営していきます

”「てのひらに未来」を読んで” 2020.9.20(sun)

町工場の精密機械部品製造職人たちを率い、やむなく戦争武器部品を製造せざるを得なかった2代目社長・父の無念さに、高収入のミサイル部品の注文を断った3代目社長の中学生の娘・琴葉と、祖母が父（彼の曾祖父）を中国との戦争で亡くして戦争孤児になり、それがために中国人の嫁（彼の母親）を受け入れられず、父親もその妻（彼の母親）を守り切れず、母親は自分を置いて中国に帰国したために反発、家出し、琴葉の家に住み込みで働きに来た、中卒の天馬との物語。どうもこうした物語には弱い私は、今日一気に読んでしまいました。

戦争で亡くなった画学生の絵が展示されている「無言館」（そのネーミングにも感動）を訪れ、戦時中にも関わらず、明るい色使いで、人物の表情も生き生きしており、風景ものんびりとして美しい、日常の一瞬を切り取ったような絵ばかりを見て、来場者ノートに、「世

界から憎しみを消したい。消さなくちゃいけない。オレ自身からも」と書いた天馬に、「あたしにできることを見つけたい。平和な未来につなげるために。」と書いた琴葉。

結局、祖母が中国人の嫁（彼の母親）を見ると、遺骨もなくそばにあった石しか送られてこなかった無念さが蘇り辛く当たってしまった自分を恥じていることを知った天馬は、余命 1 ヶ月と宣告された祖母の元に帰った。一方、いつも機械油が匂い、指に油がしみ込んだ父親を嫌っていた琴葉は、天馬から聞く父親の姿に次第に尊敬の念を抱くようになる。

そして、1年後の春、再び琴葉の父親の町工場で働くべく、高卒認定試験を経て、世話になった社長（琴葉の父親）の出身大学・条北大学工学部に合格した天馬と、父親の出身大学・条北大学の附属高校に合格した琴葉が、隣り合わせの入学式で琴葉の両親と共に会い、ここがちょっとばかり憎い話、お互いの愛を確かめ合った。

工藤順子氏の作品は初めて読ませて頂きましたが、実に読後感が清々しいですね。今回の日誌はよくうちの職員に言われますが、1文が長~~~~~い文になっちゃいましたが、ご了承下さい。

” どうして不登校、ひきこもりの対応をするのか？” 2020.9.15(wed)

よく聞かれる、この質問。Gamer として稼ぐから、You Tuber になるから、学校に行く必要性を感じない子ども達。そんな夢を抱いている子ども達を私は否定しませんし、自分の本来やるべき学業や仕事をせずに、そんな空想や妄想に浸っている子ども達や若者は、私にはどうでもいいんです。でも、こんな時代、自分の本来やるべき学業や仕事をしながら、そんな夢を抱き、そんな自己実現のためにがむしゃらに日々努力してるんだったら、私は応援します。あるいは、この世で一番大事な息子や娘を、何とか学校に行かせたい、学校に行かなくても自分のなりたいものを見つけ、それに向って歩ませたい、あるいは、自分に合う仕事を見つけ自立してほしいと願って、私の元に訪れたその保護者達の切実な想いは、私は無視できません。私は、そんながむしゃらに頑張っている若者達の想い、そんな保護者の切実な想いを実現すべく、仕事として私はその保護者の不登校やひきこもりの子ども達や若者に対応します。

” ひきこもりの心情—どうしてひきこもるか” 2020.9.14(mon)

9月1日付けの日誌にも書きましたが、3歳頃までに形成される基本的信頼感の育成不足に加えて、人間関係を希薄化するゲームやSNS、学校環境などもひきこもりを産み出しているように思いますが、そもそも親子関係もその素因のように思います。

則ち、ひきこもりの子どもを抱えたご両親も、自身の親との関係が“疎”だったのではないのでしょうか？だから、自身の子どもも友達と“密な”親子関係が築けないように思うんです。従って、親と“密な”人間関係を築けない、そもそも親との基本的信頼感が十分育ってない子どもは、親以外の人に対しても信頼できず気を許せないから、関わりづらさを感じる。そうして、自身の親と兄弟姉妹というごく狭い人間関係の中で生活しているが

ために、親や兄弟姉妹の日常生活の行動に神経が集中し、過敏になる。ましてやそれ以外の他人には、それ以上に過敏になり、その場に一緒に居られなくなる。だから、マズローの言う「安心・安全な」自身の部屋にひきこもる。そんなことを考える今日この頃です。

”西伊豆交流合宿” 2020.9.9(wed)

来月 10 月 18,19 日（日・月）に、西伊豆交流合宿を企画しました。中学生（登校日に絡みますが）から若者、50 代・60 代の大人たちが参加を予定しています。

18 日は午前中、修善寺サイクルスポーツセンターで、1 時間半から 2 時間かけてたっぷりパターゴルフを楽しみます。その後は、西伊豆仁科の民宿ちからに向い、学校や勉強、子育てから生き方などをみんなで語り合おうと思っています。

翌 19 日は午前中 2 時間半、フリーウェイズさんの指導で「堂ヶ島天窓洞シーカヤック」をたっぷり楽しみます。その後、昼食をとり、駿河湾カーフェリーに乗って藤枝に帰ります。NPO 日本インターネットスクール協会静岡事務局所有の 10 人乗りのグランドキャビンでの交流合宿になります。人数が増えれば、レンタカーも考えます。

新型コロナ禍での企画。体験もさることながら、メインは中学生から大人たちで、「学校・子育て・生き方」を率直に語り合うことです。“超”情報化社会の中、私達は様々な情報に振り回されています。FPS・TPS やフォートナイトに興じる中高生や、ツイッターやインスタグラムで自己発信を楽しむ若者たち。その一方で、彼らは生身の交流を避け、家族とも語らないものもいる。この機会に、そんなことに眉をひそめる 50 代・60 代の大人たちが、私が経験した事例も含めて、そうした若者達の生き方を考え、語ろうと思い、企画しました。えっ！パターゴルフとシーカヤックを楽しむだけじゃあないの？と思った〇〇ちゃん、たまにはそういう場にも参加してみようよ。皆さんの参加をお待ちしています。

”東進衛星予備校藤枝駅南口校” 2020.9.4(fri)

今日はもう一つ、この話題についてもお話させていただきます。当グループは、「社会に貢献する」という自己実現したいと願う生徒達の願いも実現するために、東進衛星予備校藤枝駅南口校を運営しています。医者になって苦しんでいる患者を救いたい、旧帝大に入学して上場企業に就職したいと大学進学を目指す生徒も、人の心の痛みが分かる人になりたい、自分のアイデンティティを確立したいと来る不登校・ひきこもりの若者たちも、「自己実現したい」と願うことにおいては同じです。

当東進衛星予備校藤枝駅南口校は、藤枝駅から徒歩数十秒という立地を優先し、受講環境はまだまだ不十分かもしれませんが、学力増強に授業力（東進の講座）のみならず、メンタルトレーニング・心理支援を重視し、その専門スタッフ（土曜日担当の私も含めて）を配置し、運営しています。勿論、少しでもいい受講環境については対応・準備しています。ご理解の程、宜しく願い申し上げます。

”不登校・ひきこもりの解消とは” 2020.9.4(fri)

明日富士市教育プラザで行われる、県教委主催の「合同相談会」に参加します。不登校・ひきこもりのご相談は、そこでお受けします。昨年度は、県東部地区では2名の不登校・ひきこもりの解消のお手伝いをさせて頂きました。

そこで、時々聞かれるこのテーマ、「不登校・ひきこもりの解消とは」。私達は、不登校・引きこもりの状態を解消することは、社会的な自立を果たすことと捉えています。即ち、子ども達にとって社会的自立とは、自らの進路を主体的に捉えてそれに向け、進学するために学習を始める、就職するために、あるいは、技術を身に付けるために研修、修行を始めるなど、何らかの行動を始めること、と捉えています。その場は、学校であったり、予備校・塾であったり、所謂フリースクールであったり、自宅でもあり、その他の研修（修行）の場と、様々です。ですから、不登校解消＝登校、ひきこもりの解消＝就職だけである、とは捉えていませんし、不登校・引きこもりの状態を社会的自立不全として捉え、不登校・ひきこもりの子ども・若者を否定しているのではありません。

私達は、この世で一番大事な我が子の社会的な自立を願う親の願いを、自己実現したいと願う子ども達・若者たちの願いを実現するために、その依頼を受け行動します。それにはまず私達は、そうした社会的自立を果たしたいと願う子ども達・若者たちと、それを阻害しているものは何か、それを話し合うことから始めます。

“不登校でも、普通高校に行きたい中学3年生の皆さんへ 続編” 2020.8.30(sun)

勿論、8.24 付けの日誌の通り、日本の“学歴”は世界レベルから見れば何とも寂しい限りですが、人の評価はその人の努力度に寄るんだと思います。

公立志向が強い保守的な静岡県にあって、今年度から私立高校授業料無償化（正確にはいったん支払い、申請して払い戻される）が始まり、高校の評価がその教育力、指導力に左右される時代に入りました。それでも、「自学自習型」の通信制高校より「他学自習型」の普通高校に行きたいと願う君たち。確かに何らかの理由で学校に行かなくても、日々家で勉強している生徒は違いますが、家でも勉強していない生徒にとっては「自学自習型」の通信制高校での学習は厳しいのが現実で、「他学自習型」の普通高校に行きたいと思うのかもしれない。

しかしご存知の通り、高校は義務教育ではありません。だから、中学校も行かず、家でも勉強していない君たちは、どうして高校に行きたいの？と問われます。当然だよな？中学校も行かず、ひたすらゲームにのめりこんでいる。あるいは、何もせず日々を過ごしていたら、人は高校進学可能と評価しますか？eスポーツに自分を賭けるのもいいでしょう。でも、それは高校進学とは別次元の話です。

なぜ普通高校に行きたいのか考えてみて下さい。それでも普通高校に行きたいのなら、今すぐにも勉強をきなさい、と私は言いたいのです。冒頭に述べた通り、人は努力は評価します。下記の8.26 付けの日誌で述べ通り、その努力が評価され、普通高校（中には県立

高校)に行った先輩たちは、今年も昨年も毎年います。

”不登校でも、普通高校に行きたい中学3年生の皆さんへ” 2020.8.26(wed)

勿論、普通高校でなくても、少なくなってきましたが定時制高校だってありますし、逆にここ静岡では増えています通信制高校もあります。あるいは、専門学校や大学が最終学歴にするんだったら、高卒認定試験合格を狙う道もあります。

でも、今不登校になっただけでも普通高校に行きたい、でも半場諦めている中学3年生の相談が、このところ相次いでいます。

だったら、今すぐ勉強しよう！9月2日の学調は別室でもいいから受けよう(点数は気にするな)！次の定期試験の勉強しながら、カウンセリングを受け行きづらさを解消して、9月には登校し、その定期試験で自分の力を出そう！

その定期試験の後に、今まで授業を受けてなかった単元をしっかりと勉強しよう！「小さな人間たちの詩」で語っていますが、当グループの東進中学NETでは1日90分週5日受ければ、国理社は1ヶ月と4日、英数ではその倍の2ヶ月と8日で1年間の授業を習得できます。そうでなくても、英数国理社、中学3年間の勉強がまとまっている学校配布の「自習室」(学校によって色々なテキスト名になっています)や、塾の高校入試対策(あるいは学調対策)の夏期講習のテキストで勉強すれば、効率がいいです。特に社会は、地理・歴史・公民の教科書を最低5回通り読むだけでも結構分かるようになります。どうしてもわからない単元は、東進中学NETや塾を利用すればいいんです。

そうして普通高校(中には県立高校)に行った先輩たちを、今年も昨年も毎年、私達は送っています。電話054-644-1304にお電話ください。私達は、そんな皆さんを応援します。

”学歴” 2020.8.24(mon)

45年間学習塾・予備校界に身を置いた者がこのテーマに触れることに、違和感を感じま方もおられるでしょう。即ち、「学歴社会」は当然として学習塾・予備校が成り立っているところがありますから、その意味では「学歴」は、学習塾・予備校界にとって「聖域」かもしれません。

英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE) が2019年9月12日に発表した、世界の大学を研究の影響力や国際性などで順位付けした「世界大学ランキング」の最新版(2020年版)では、世界1位は4年連続で英国のオックスフォード大。日本からは前年より7校多い110校(国立57校、公立11校、私立42校)がランクインしましたが、国内大学の最高順位は東京大の36位でした。日本は200位以内に入ったのは京都大(65位)を含む2校にとどまりました。アジアトップは清華大で23位、200位以内に中国は7校、韓国は64位のソウル大を始め6校、香港は5校で、いずれも日本を上回っています。

勿論、このランキングは、順位付けの基準(①教育力②研究力③研究の影響力④国際性⑤産業界からの収入)を設け、各大学の学生と教員の比率や留学生比率を調べたり、世界

の研究者に研究や教育の評判を調査したりして順位を決められ、留学する大学を選ぶ指針として使われており、絶対的な評価ではありません。また、順位付けの基準は研究や大学院教育を重視しているため、このため学部教育が中心の大学より大学院の規模が大きい研究重視の大学が上位に入りやすいのです。従って、学部教育の「ランキング」そのものではないにしても、研究の濃さ＝大学の質からは日本の本来の「学歴」認識に近いんじゃないかと思いますが、日本の大学の研究の濃さ＝大学の質は世界レベルから見れば、こんなもんなんですね。

その意味で日本の「学歴社会」を論ずるには、なんとも寂しい限りです。しかし現実には、旧帝大に国公立大、早慶に明青立法中、日東駒専、関関同立・・・とのランキングから、生徒は少しでも上の大学を目指して学習塾や予備校に通い、学習塾・予備校もそれを支援する。そして、その大学の卒業生という肩書がその人の人格の如く扱う、日本の「学歴社会」の実態。（かく言う私も、このホームページで自己紹介に学歴を記入し、そんな「学歴御社会」にどっぷり浸かっているんですね。）

”インプットからアウトプットの入試へ” 2020.8.21(fri)

グローバル化の進展や人工知能技術をはじめとする技術革新などに伴い、社会構造も急速にかつ大きく変革、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てるため、『学力の3要素』（1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を育成・評価することが重要になりました。

そのため、高等教育と大学教育が連携してこの『学力の3要素』を育成・評価することになり、今回の大学入試改革に至りました。

その一つが、記述式問題の導入。これにより、解答を選択肢の中から選ぶだけでなく、自らの力で考えをまとめたり、相手が理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価することができます。

また、共通テストに記述式問題を導入することにより、高等学校に対し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を促していく大きなメッセージとなります。大学においても、思考力・判断力・表現力を前提とした質の高い教育が期待されます。

併せて、各大学の個別選抜において、それぞれの大学の特色に応じた記述式問題を課すことにより、一層高い効果が期待されます。（独立行政法人大学入試センターのホームページから引用、一部修正）

要は、ご存知の通り、インプット（学力の3要素の知識・技能）重視から、アウトプット（学力の3要素の思考力・判断力・表現力）重視に、入試が変わります。

勿論、この改革に向けて小中高校の学習指導要領も改訂され、制度的には令和3年度の新大学入試制度に対応できるようにしてきました。

人間の暗記力に勝る人工知能（AI）の登場で教育も、人工知能（AI）に蓄積させた知識と技能を如何に活用し、新たな課題をどう解決していくかという能力を育成していく

時代になりました。また、グローバル化の進展で言語能力も、今までの受験英語能力ではなく、学力の要素でもある、主体性を持って多様な人々と協働できるコミュニケーション言語能力を育成しなくてはならなくなりました。

東進衛星予備校を運営する私達も加盟した 20 年前から、こうした流れに応じて毎年最低 2 回は研修を受け、議論も重ね、生徒たちに対応してきました。

その間、私は正直、長く身に付いた過去の教育から、新しい教育への摸索の日々だったように思います。しかし、その根底は変わらず、基礎・基本の習得だと思ふに至りました。それを元に 2014 年、静岡県重点分雇用創出プラン民間アイデア募集による委託事業に採択され、開設した民間放課後児童クラブモデル「放課後スクール 学びの広場」で、私達なりにまとめた学力観を、本ホームページに「静岡オープンスクール学力観」として掲載させて頂きました。それが私達の日々の導理念です。

” 20 年後も変わらぬ真理” 2020.8.19(wed)

おはようございます。今回の改装でこれまでの自身の日誌を読み直してまして、2000.6.29 付けの日誌、注釈を入れさせて頂いた通り、当時私はアドラー心理学を学んでなかったんですが、アドラーが言っていることを自身も述べてたことに、少し驚きを感じました。やはり真理の一つなんですね。

則ち、小 6 の息子が昼食に麦茶が出ていないことに腹を立て、食卓をひっくり返し、こぼれたご飯を足で踏みつけて自分の部屋に入ってしまったが、母親としてどう対応しているのか？という相談に対して、「お母さん、私は昼食を作ることでお母さんの責任はちゃんと果たしていると思いますよ。麦茶を出すことまでお母さんの責任ではない筈です。それを食べる、食べないは、彼の判断です。食べずに踏みつけて行ったんですから、また用意する必要はないと思いますよ。ただそのことは、落ち着いて彼に話して下さい。」と、私はお話をさせて頂いたんですね。

そう、アドラー心理学が言う「課題の分離」のことなんですね。しかし、この「課題の分離」はアドラー心理学のオリジナルの考え方でもありませんので、上記のことが起きますし、それゆえに真理なんでしょう。

学校に行けるように靴や服を買ったり、給食費を払うなど準備をするのは親の課題。それで、学校に行く、行かないは子どもの課題だから、子どもを信じて子ども自身に判断させるべきです。親が助言はしてもいいですが、学校に行くようにあれこれ手を回すと過干渉になると同時に、子ども自身が自分の課題に真剣に取り組まなくなり、かえって不登校を助長します。子どものことで悩む前に、まずは「課題の分離」をして下さい。